

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 30日

事業所名 みらいちむぐる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1名	2名	体調不良や個別支援の必要に応じて個室を使っている	個室が多い分死角が多いとも言えるので広い視野で見守りをしていく必要がある
	2	職員の配置数は適切である		3名		足りない場合や休みの場合も考えて配置が必要な為、再度見直す
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		3名		施設が2階にある為
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		3名	サービス終了後、毎日清掃を行い清潔に保つようしている	空気の入替えはもちろん、未満児もいるので施設内の段差をなくして安全に遊べる環境を作っている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		3名		利用者の個々のニーズに合わせての支援までは行き届いていないため専門職の配置を検討していく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2名	1名		評価表をもとに、保護者のニーズに最大限答えられるようにしていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3名		ホームページで公開し、だれでも見られるようにしている	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3名		第三者の意見はとても貴重だと思うので今後取り入れていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		3名		現在行っていない為、体制を整え実行していきたい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している		3名		モニタリング会議での共有ができておらず、職員の把握ができていないため、今後は共有をしっかりと行い作成を行っていく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		3名		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		3名		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている		3名		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている		3名		話し合い、共有は行っているが立案とまではいかない為、チーム意識を強めるためにもやっていきたい
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1名	2名		子ども達の特性上固定化になりがちだが、同じ遊びでもルールを変えたりと工夫が必要
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		3名		放デイと重なる時間は個別活動ができないことがあるが、集団活動としてできる活動に参加をさせている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2名	1名	朝揃い次第、話し合いをし議事録にまとめている	より良いサービスの向上に向けて職員間での話し合う時間作りに努めていく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2名	1名		送迎で遅くなり、口答での共有になっているので、まとめられるようにしていきたい
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3名		その日、遅くても次の日までには記録をとっている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	2名	1名		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		3名		できるだけ参加はしているが、参加が難しいときは文書の提出や、保育士が参加している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		3名		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2名	1名	訪問看護師さんと連携を取り、状況把握をしている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		3名		主治医の把握はできていないが、緊急時の消防との連携はとれている。今後は主治医や医療機関とも連携をとれるようにしていく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3名		まだその状況になっていない
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3名		まだその状況になっていない
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		3名		今後検討していきたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1名	2名		施設の1階が小規模保育園の為、時々一緒に遊び交流をしている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3名		今後検討していきたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2名	1名	送迎時に様子の共有を行っているが、会えない保護者もいる為、必要に応じて連絡をしている	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		3名			
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		3名			
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		3名		丁寧な説明が行えているか把握できていないが、今後は必ず説明したことも共有して職員全員が把握できるようにしていく	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2名	1名	保護者から話があった際には、すぐに対応するようにしている	話しの流れを必ずスタッフ全員に共有し、誰でもその後の対応が出来るように体制を整えていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3名		現在開催できていないため検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	1名	2名		すぐに対応できない場合もあるが、スタッフ間で共有しながら対応方法を考えている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		3名		口頭、連絡帳などでの発信が多いため工夫をして発信に努めていきたい
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3名		個人情報に関する書類のある棚には毎日施錠を行っている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2名	1名	発語が難しい児童の保護者には、送迎時に伝えている。会えない保護者には、必要な連絡を電話やLINEで共有している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3名		今後検討していきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		3名		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		3名		年に一回実施しています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2名	1名	家庭からのアセスメントシートをもとに児童の現状把握を行っている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		3名		現在、対象児はいません
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		3名	様式を見直しました	まずは事業所内でヒヤリハットの定義について話し合い、共有を日々行う必要がある
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		3名		研修情報を得ていきたい
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		3名		現在対象児がいないが、今後対象児が入所した際には決定、記載する

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 みらいちむぐる

保護者等数(児童数) 6名 回収数 6名 割合 100%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	5名	1名				広いプレイルームや開放的なベランダなど活動によって分けています
	2	職員の配置数や専門性は適切である	3名			3名	職員がどのくらい配置されているかわからない	事業所に写真などで掲載していきます
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3名	1名		2名		2階に事業所があり階段はあるがフロアは段差がない為バリアフリーになっています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6名					
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4名			2名		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4名			2名		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4名			2名		いま一度支援計画内容を職員間で共通理解し計画書に沿って行なっています
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4名			2名		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1名	1名		4名		
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	5名			1名		保護者の方へ丁寧かつわかりやすい説明を心がけて行きます
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	5名	1名				
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	4名	1名	1名			
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5名	1名				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4名	1名				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2名		2名	2名		今現在、開催することが出来ない為、検討します
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	5名		1名		相談や申し入れをした事はあるがその後の施設側からの説明がない為適切に対応されているかわからない	その場で回答できないものは持ち帰り対応するようにしています
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5名		1名			より意思の疎通や情報伝達が出来るよう努めます。気になる事はなんでもお尋ねください	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2名			4名		自己評価の結果はHPに掲載しています
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	6名					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1名	1名		3名		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2名			4名		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	5名			1名	本人がとても楽しそうに通所していて、その日出来た事やった事等教えてもらい、お兄さんやお姉さんに可愛がってもらっているのが親としてはそれだけで安心満足しています。これからもよろしくお願いします	保護者の皆様とお子様に安心かつ楽しいと思って頂けるよう努めていきます
	23	事業所の支援に満足している	5名	1名				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 30日

事業所名 みらいちむぐる

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		3名			
	2 職員の配置数は適切である			3名		現在常勤2名で、通所児童により手が必要な場合は非常勤に入ってもらっているが、時間によりもっと必要な場合があるので、職員確保を検討依頼する
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			3名		施設が2階にある為、階段がある
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している			3名		利用者の個々のニーズに合わせての支援までは行き届いていないため専門職配置の検討をしていく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		2名	1名	すぐに改善できる内容に関しては対応している	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2名	1名		自己評価の結果をホームページにて掲載している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		1名	2名		第三者の意見はとても貴重だと思うので今後取り入れていきたい
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		1名	2名		現在行っていない為、体制を整え実行していきたい	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		1名	2名		モニタリング会議での共有ができておらず、職員の把握ができていないため、今後は共有をしっかり行い作成を行っていく
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		3名			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている		3名		活動の共有は行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2名		1名	固定化しないように色々な活動を提案している。子供たちの「またこれやりたい」があると同じ活動にはなってしまうのでアレンジを加えている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		2名	1名		利用者の個々のニーズに合わせての支援までは行き届いていないため専門職配置の検討をしていく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		2名	1名		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3名			朝揃い次第、話し合いをし議事録にまとめている	より良いサービスの向上に向けて職員間での話し合う時間作りに努めていく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2名	1名		記録のみではなく職員間で共有するようにしている	送迎の関係上、どうしてもその日にできないこともある為、その場合は次の日の朝に行っている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2名	1名		毎日記録をつけ、送迎から戻った職員と情報共有している	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		2名	1名		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		1名	2名		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している		2名	1名		できるだけ参加はしているが、参加が厳しいときは 文書の提出や、保育士が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	2名	1名		急遽早下校になっ ても学から連絡がない 日があるので、共有 を頂けるようお願い している	
		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		2名	1名		主治医の把握はできていないが、緊急時の消防 との連携はとれている。今後は主治医や医療機 関とも連携をとれるようにしていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		1名	2名		必要に応じて関係する施設と連絡を取り共 有し、支援につなげていきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している			3名		対象児童がいる場合は、移行先と密に情報 共有を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている			3名		現在連携はとっていないため、今後のためにも 検討していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1名		2名	活動で公園に行った際、他事業所も活動されて いることが多いので、その際は一緒に鬼ごっこ をしたり交流している	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している			3名		機会があれば参加したいと考えている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	1名	2名		基本伝えているが、送迎時に保護者がいない 家庭もあるので、学校からの共有がある際は LINEしている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている			3名			
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている		2名	1名		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	1名	2名		保護者から話があった際、話の流れを必ず スタッフ全員で共有し、誰でもすぐに対応 できるように体制を整えていく	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している			3名		現在開催できていないため検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅速 かつ適切に対応している			3名		当日中の対応を意識しているが、難しい 場合はその旨を伝え、出来るだけ早め に対応するように今以上に心がけていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している			3名		口頭、連絡帳などでの発信が多いため 工夫をして発信に努めていきたい
	35	個人情報に十分注意している	2名	1名		個人情報に関する書類 のある棚には毎日施錠 を行っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしている	2名	1名		言葉が苦手な子の親に対して楽しんで いた様子、ちょっとしたトラブルの様子 などを送迎時に必ず伝えるようにして いる	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に関わった事業運営を図っている			3名		今後検討していきたい

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		1名	2名		現在、周知出来ていないので改めてマニュアルを見直し、訂正をかけ再発行して職員、保護者に周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		2名	1名		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			3名		今後の為にも研修を行い、適切な対応ができるようにしていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		1名	2名		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		2名	1名		現在、対象児はいません
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			3名		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 5月 30日

事業所名 みらいちむぐる

保護者等数(児童数) 6名 回収数 2名 割合 33.3 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2名				広いプレイルームや開放的なベランダなど活動によって分けています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか		2名		分らない	子どもたちの安全面を考慮して職員の配置に努めていきます
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2名				事業所が2階の為階段はあるが、フロアは段差がない為バリアフリーになっています
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	2名				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	1名	1名			子ども達がやりたい活動も取り入れるようにしています
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2名		分らない	交流する機会はないが、公園に行った際に子どもたち同士で声を掛け合い遊んでいます
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2名				保護者の皆様に丁寧かつ分かりやすい説明を心がけていきます
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1名	1名		分らない	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		1名	1名		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			2名		今後検討していきたい
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		2名		分らない	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1名	1名			より意思の疎通や情報伝達が出来るよう努めます。気になる事は何でもお尋ね下さい
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		2名		分らない	自己評価の結果はHPにて掲載しています
14 個人情報に十分注意しているか		2名				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1名	1名			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		2名			
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	2名				引き続き 楽しいと思って頂けるよう工夫いたします
	18 事業所の支援に満足しているか	2名				引き続き 保護者の皆様に安心して頂けるよう努めていきます

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。